つくし園だより

令和６.５月 407号

【つくし園】
〒791-8041
松山市北吉田町
77-34
TEL(089)994－8636
FAX(089)994-8637

本年度もよろしくお願いいたします

家族会会長　宮田　美輪

天候不順な晩春から初夏の季節ですが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。先日の家族総会ではお世話になりました。今年度もご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、ご存じの通りつくし園は今年で三十五周年を迎えます。開園から利用者が必要とする事業を増やすなど、利用者に寄り添った活動をしていただいてきたと思います。そして、これからの五年後、十年後は、親はもちろんのこと、利用者自身の高齢化に向き合っていくことになるはずです。それをふまえても、家族会としてできる限りお手伝いをしていかなければならないと思っています。

唐突ですが、私はずいぶん前から、面白そうな新聞記事や写真を見つけると切り抜いてファイルしておいては、時々読み返すことを楽しみにしています。その中には読者からの投稿もわりとあります。ひとつ紹介します。

二〇〇〇年七月、「しゃべるニワトリに育ててみたい」という岡山の主婦の方から投稿が掲載されました。ひよこ五羽を雛のうちに同じ言葉を繰り返し聞かせてインコのように話せるニワトリようにしたいという、普通に考えても無茶な話でした。

ところが十五年後の二〇一五年一二月、「しゃべるニワトリ育てようと十五年」というタイトルの投稿が掲載されたのです。結局、五羽ともしゃべることはなく、最後の一羽が息を引き取ったので結果報告として投稿されたものでした。長くはない投稿文ですが、十五年間のニワトリたちと筆者や近所の子供たちなど周囲の人々との温かい日常が心のこもった文章から伝わってきました。最後の結びは次のような文でした。「ニワトリはしゃべりませんでしたが意思は通じたと思います。…元気なときは五羽で毎日二個ほどの卵を産み、何より癒やしを与えてくれました。」

私もこの投稿に癒やしをいただきました。そして、この方の十五年、つくし園の三十五年、これからの自分たちの十年、といった時間が長いようで短いことを再確認し、一日一日の日常の積み重ねの大切さを思いました。

今回、「新聞を読んでいるかのようなネコ」を息子が描いたのでちょうどいいやと思って掲載していただきました。（息子にすれば「読んでいるかのよう」ではなく、ホントに読んでいるつもりで描いたのかもしれません）

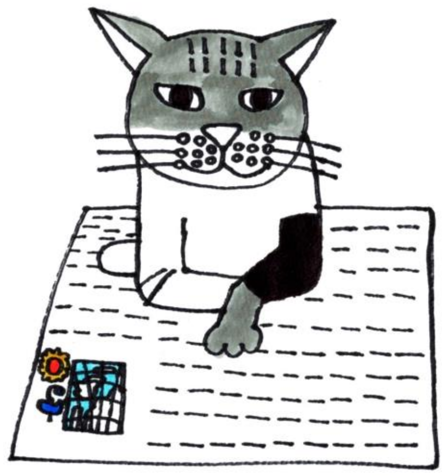
最後に、この数年はコロナ禍のために家族会も十分な活動ができませんでしたが、今年度は情報交換を中心とした奉仕活動の日を設けたいと考えています。お時間の許す範囲でご参加いただければ幸いです。

※挿絵はスペースの関係で下段に入れさせて頂きました。

５月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
28	27	28	29	30	31	

・１８日土曜日は開園日です。



新聞を読んでいるかのようなネコ

画　宮田　道思

５月の行事予定

・20日（月）・・・誕生会

・24日（金）・・・焼き肉パーティー

・27日（月）・・・避難訓練

・31日（金）・・・月末大掃除

ありがとうございます

日本財団様から送迎車（小型車）の整備事業でセレナ８名乗り送迎車（普通車）を頂きました。

大切に運転して利用者の方々に安心して乗っていただけるように努めていきます。ありがとうございました。

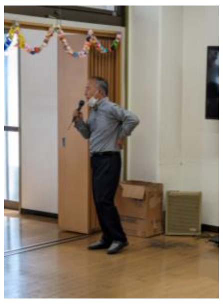
文責：　竹野寛　藤岡奈保子

♫開園記念祝い♫

4月26日金曜日　つくし園の開園記念祝いの会を開きました。平成2年4月に開園したつくし園も見守って下さるみなさまのおかげで35年目を迎えることができました。

今回の開園記念祝いも昨年と同様につくし園内での開催となりました。まずは、小松（藤田）新管理者の挨拶からでしたが、体調不良で欠席となったため、甲斐主任が代読する運びとなりました。その後、永井前施設長から挨拶をいただき、利用者代表として玉井さんが挨拶と乾杯の音頭をとってくださいました。

その後は、皆でほっかほっか亭の美味しいお弁当をいただき、飲み物はジュースやビールの他、チューハイを飲まれている方もいました。デザートにはパンケーキが登場し、利用者の中には「パンケーキ！」と連呼している方もいて、喜んでいる姿が印象的でした。



お腹も満たされたところで、利用者の皆さんにはDVD鑑賞を通して、つくし園の歴史を振り返って楽しんで頂きました。懐かしの運動会や文化祭などの映像が流れると、食い入るように見る方もいれば、談笑しながら見ている方もいらっしゃいました。

そして、開園記念祝いの恒例といえば、くじ引きです。皆さん欲しいものを目指して、良い順番になって…と祈りながらくじを引きました。

最後にダンスをして今年度の開園記念祝いも無事に終えることが出来ました。皆さんの笑顔がみられて、大変嬉しく思っています。

今年度から様々な体制が変わり、職員一同協力し合って支援に努めて参ります。今年度も宜しくお願い致します。

文責：　竹野寛・藤岡奈保子